

梅津中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

令和5年度 小中一貫教育構想図

9年間の小中一貫教育の目標

『自と他を大切にできる豊かな人間性と
自律して社会を生き抜く力の育成』
相手を尊重し、つながりを大切にし、一体感と誇りを感じられる学校を創る

目指す子ども像

互いのよさや可能性を認め合い、思いや考えを伝え合える児童・生徒

自分の課題を見いだし、自分を生かせる未来を語れる児童・生徒

具体的な取組の柱

- ① 小中合同の授業研修会（小1回、中1回）を行い、小中相互の授業への理解と授業改善を図り、学力向上を目指す。
- ② 中学校区で毎月15日を「いいことばの日」とし、各校生徒会・児童会を中心に「いいことば」を使う取組を推進する。
- ③ 夏季には小中合同の教員研修会を行い、9年間を見通した児童・生徒理解と指導の方向性の共通理解を図り、実践につなげる。
- ④ 小中合同研修会の前後には合同主任会（授業研究、生徒指導、児童会・生徒会、総合、人権教育、英語、総合育成支援）をもち、各校の取組や研修会の方向性、共通の取組への共通理解等を図る。
- ⑤ 各校が取り組む研究授業について参加案内を送付し、日常からつながりを意識できるようにする。
- ⑥ 必要に応じて（月1回程度）教務主任は会合をもち、取組の確認を行う。

梅津中学校・梅津小学校・梅津北小学校の3校で、育てる児童生徒像を共有し、相互のカリキュラムや生徒指導などの取組の交流と調整を行い、また、授業公開と事後研究会、夏季合同研修会の分科会での課題別協議を実施する。これらの取組を通して相互理解と課題の共有を図り、指導力を向上させ学力向上を目指す。

梅津小学校

「進んで学び、自らの力で
未来を切り拓く子ども」

梅津中学校

「自らの意見や考えを伝え、相手の意見を
汲み取り、つながり合える力の育成」

梅津北小学校

「夢に向かって 自ら考え 行動し
最後までやり遂げる子を育てる」

取組の3つの柱

- ① 人権教育を基盤とした、人間愛に満ちた児童の育成 「一人一人が徹底的に大切にされる学校」
- ② 学力向上を目指した、進んで学ぶ子の育成 「学力向上委員会で徹底して実践する内容の検討と充実」
- ③ 保護者・地域との連携 「開かれた学校づくり、地域ぐるみの学校づくり、小中連携等」

取組の5つの柱

- ① 安心・安全で美しい学校づくり。
- ② 人権意識の向上と自己指導力の育成。
- ③ 進路を意識し、考え自ら学ぶ生徒の育成。
- ④ 生徒会活動を中心とし、本校を誇りに思う生徒の育成。
- ⑤ 互いに高め合い補い合える教職員集団づくり。

取組の3つの柱

- ① 「自ら学ぶ子」
…学力向上、自己指導能力、思いを言葉にする力の育成
- ② 「優しい子」
…人権尊重、福祉、ボランティア精神の育成
- ③ 「たくましい子」
…健康・安全教育、食に関する指導の充実